

瀬戸市教育委員会 9 月定例会

1 報告

- (1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について (教育政策課長)・・・P 1
- (2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (教育政策課長)・・・P 3
- (3) 令和 6 年 7 月情報公開請求について (学校教育課長)・・・P 5
- (4) 令和 5 年度せと“ここ”ほっとルームの活動報告について
(学校教育課長)・・・別添資料
- (5) 学校給食費の改定について (学校教育課主幹)・・・当日配布

2 議案

- 第 3 0 号議案 代決処分の承認を求める件について(瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定議案に対する意見)
(教育政策課長)・・・P 6

3 その他

- ・日程について・・・P 9

催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

No	申請受付 年月日	主 催 者	催 物 名	会場・開催期間等	催 物 内 容 等	申 請 区 分	入 場 料 等	許 可 年 月 日 (整理番号)	チラシ等
1	令和6年 7月19日	K-TWELVE 株式会社	プロが教える無料サッカーイベント	モリコロパーク 令和6年8月30日(金)	地域とのコミュニケーションを大切にする中でこのイベントを通して子どもたちがサッカーと出会い、ボール遊びや全身を使った運動でたくさん身体を動かすことを目的とします。また、ドリブル・パス・シュート等いろいろなプレーに挑戦するコロコロを大切にし、競技として必要な技術を学び、夏の親子の思い出となる事をミッションとしています。	後援	入場料 無料 参加料 無料	令和6年7月29日 (6-62-42)	○
2	令和6年 8月5日	尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム	瀬戸武田信玄公歴史探索プロジェクト開催	山口憩いの家 令和6年9月8日(日)	瀬戸に残されている武田信玄の史跡や文化財等の探索、勉強会	後援(継続)	入場料 無料 参加料 有料：500円	令和6年8月13日 (6-64-44)	○
3	令和6年 8月8日	瀬戸商工会議所青年部	瀬戸商工会議所青年部 第9回せともの祭協賛事業	宮前公園 令和6年9月14日(土)～令和6年9月15日(日)	第93回となる「せともの祭」において、地域の代表的な行事の一助になるべく協賛事業を行う。また、瀬戸市の歴史ある産業祭であるせともの祭を後世にまで残るよう多くの来場者に広く知っていただく。特に次代を担う子供たちには、瀬戸の歴史を大切にする心を醸成し、今後の瀬戸市の文化の質の向上と発展に資することを目的とする。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 有料：オカリナ絵付け体験・大400円、小200円 ボディーシール大200円、小100円 お化け屋敷・大500円、高校生以下300円 缶バッジ200円 など	令和6年8月14日 (6-68-45)	○
4	令和6年 8月13日	ヒューマンアカデミー名古屋事務局	ロボット製作体験会	瀬戸市共栄通5-8 マナビー/西陵地域交流センター/パルティセと 令和6年9月14日(土)～令和6年10月26日(土)	ブロックキットを使用して、一人1台のロボットを、観察力・空間認識能力・論理的思考力を養いながら完成させます。自由改造も有、想像力も養います。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 無料	令和6年8月14日 (6-69-46)	○
5	令和6年 8月19日	日本ボーイスカウト愛知連盟 瀬戸第1団	ワクワク自然体験あそび 森の探検隊	瀬戸南公園、萩殿の森 令和6年10月6日(日)	自然の中で体験活動を行うことで、子供たちを取り巻く環境に生じている閉塞感を打破するとともに、子供たちの元気を取り戻し健康な成長を図る。また、野外で行う体験を通して、自然に親しむことや学ぶことの大切さを知ってもらう。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 無料	令和6年8月21日 (6-70-47)	
6	令和6年 8月19日	未来の菱野団地をみんなでつくる会	こどもわいわいマーケット	菱野団地中央広場・ひしのミナクル(みんなの会活動拠点) 令和6年9月29日(日)	2026年の菱野団地における3つの小学校の統廃合と小中一貫教育導入という大きな変化を前に、こども、保護者、地域、近隣の大学生が交流を図れるような本イベントを行う。併せて本イベントを通し、子どもが自らの可能性に気づき、社会性や協調性を育み、地域社会への貢献意識を高めることで、未来を担う人材へと成長することを目指す。	後援	入場料 無料 参加料 無料	令和6年8月21日 (6-71-48)	

催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

7	令和6年 8月19日	SETOまちLIVE&GIG実行委員会	SETO まち LIVE&GIG vol.5 2024 冬	瀬戸蔵つばきホールおよび中央通り、銀座通、末広町商店街の6店舗、青の広場の8会場 令和6年12月1日(日)	過去最高の動員数となった vol.4 に引き続き、若い世代によって再び活性化が進む瀬戸の中心市街地で、世代を超えた音楽ファンや様々なパフォーマーが集まり、つばきホールでのLIVE、そして商店街の各所で繰り広げられるGIGで気軽に楽しみながら地域の賑わいを生み出すフェスを開催する。商店街、協賛者、出演者、瀬戸市その他関係者がやってよかった！続けてほしい！と思うイベントに。	後援	入場料 中学生以上：500円 小学生以下：無料 参加料 LIVE 出演料：1 枠 20,000円 GIG 出演料：1,000～2,000円 /人	令和6年8月21日 (6-72-49)	
8	令和6年 8月21日	愛知工業大学 菱野団地における多世代交流促進兼課題解決プロジェクト	家の模型をつくろう	ひしのミナクル 令和6年9月21日(土)～令和7年3月31日(月)	子ども達にもものづくりの面白さや楽しさを体験してもらうとともに家ほどのようなに作られているのか、もしくはどのように建っているのかを感じてもらおう	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 有料：500円	令和6年8月26日 (6-74-50)	
9	令和6年 8月23日	ヒューマンアカデミー名古屋事務局	プログラミング体験会	瀬戸市共栄通5-8 マナビー/西陵地域交流センター 令和6年9月23日(月)～令和6年10月14日(月)	STEAM教育への認知向上と、プログラミングを通して、自分の考えたものを試行錯誤しながら作り上げる楽しさや面白さに気づくきっかけづくり。また、プログラミングを教えることのできる講師育成のため。	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	令和6年8月28日 (6-76-51)	○
10	令和6年 8月27日	一般社団法人瀬戸青年会議所	未来へ放つ希望のランタン～誇れるせとをみんなで作ろう～	パルティセと 5階アリーナ 令和6年10月19日(土)	瀬戸市に居住されている方、瀬戸市に関わる方々の声を聴き、将来に向けたまちの課題を共有・認識したうえで、10年後のあ るべき瀬戸市の姿を共に考え、こどもたち 自身が、まちに誇りを持てる未来を創造す ることを目的として開催。	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	令和6年8月28日 (6-78-52)	○

催物の後援・推薦に係る実績報告書

NO	報告受付 年月日	報告 区分	主 催 者 (申 請 者)	催 物 名	会 場 ・ 開 催 期 間 等	催 物 の 実 績 等	後援・推薦の効果等
1	令和6年 8月5日	後援 (継続)	特定非営利活動法人 Meets Vision 松岡 慎也	みんなで!! ロボットコン テスト!! 第2回 東海エ レクトロニクス杯	開会式・組み立て教室：オン ライン (ZOOM) 作品交 流会・表彰式：東海エレクト ロニクス (株) 名古屋市中区 栄3丁目 34-14 令和6年4月15日(月)～令 和6年7月6日(土)	参加人数：74人	瀬戸市からは6名の児童が参加、特別賞に東山小1 年生の男子児童が選ばれた。
2	令和6年 8月14日	後援 (継続)	瀬戸市和太鼓連盟、有限会 社 志多ら 水野 忠治	つながる和太鼓プロジェク ト 陽かりさす 瀬戸公演	瀬戸市文化センター 令和6年7月27日(土)	参加人数：99人 入場人数：323人	教育委員会のホームページ上に掲載していただいた た。また、後援のおかげで学童保育を利用しているみ なさんへ紙媒体のチラシを配布していただくことで きた。後援があることで、より多くの団体、多くの人 へ後援の告知ができた。
3	令和6年 7月25日	後援	リーフラススポーツスクー ル 糸 達雄	バスケットボール体験	ウイングフットサルクラブ 令和6年5月18日(土)～令 和6年5月26日(日)	参加人数：66人 入場人数：170人	体験会を知った経緯のアンケートを取ったが、後援 申請により置いてもらったチラシから知ったという 方はいなかった (いろいろな周知方法をとったため他 の理由を選択している可能性もある) 運動が苦手だったり、興味が今でなかった子が主 なターゲットであったため、置いておくだけだと興味 のない子はチラシを取らないという選択になっ てしまふかもしれない。
4	令和6年 8月9日	後援 (継続)	一般社団法人おやこラボ 小原 菜奈	こどもの未来応援講座	市民交流センター 大会議室 令和6年6月5日(水)～令和 6年6月18日(火)	参加人数：19組23名	後援取得せずに講座をした際より、数多くの方にご 参加いただくことができている。参加された方より後 援があることにより安心して参加できたとの声をい ただいた。
5	令和6年 8月6日	後援 (継続)	東京大学赤津研究林サポー ターズクラブ シデコブシ の会 服部 悟	中学生、高校生の皆さん に！瀬戸市の東京大学赤津 研究林内のキノコ観察会	東京大学生態水文学研究所 赤津研究林 令和6年6月30日(日)	参加人数：0人 入場人数：0人	雨天のため中止

催物の後援・推薦に係る実績報告書

6	令和6年 8月7日	後援 (継続)	瀬戸市危険物安全協会、瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会、瀬戸市消防本部、一般財団法人日本防火・防災協会 消防長 近藤 栄二	令和6年度防火防災アカデミー	瀬戸蔵2階つばきホール 令和6年8月3日(土)	入場人数：250人	各学校のホームページにチラシを掲載していただいたことにより、多くの参加者を動員することができ、火について学んでもらうことができた。
7	令和6年 8月19日	後援 (継続)	愛知県吹奏楽連盟・朝日新聞社 小島 清美	2024年度愛知県吹奏楽コンクール(高等学校の部)東尾張地区大会	瀬戸市文化センター・文化ホール 令和6年7月21日(日)	参加人数：758人 入場人数：1843人	名義使用させていただいたことで、例年に比べ多くの方々に来場いただくことができました。
8	令和6年 8月22日	後援	日東工業株式会社 渥美 智美	電気がみえてくる！電気教室	日東工業株式会社 瀬戸工場内会議室 令和6年7月22日(月)～令和6年8月2日(金)	参加人数：50人	実施する電気教室の社会的信頼度が向上し、保護者が安心して子供を参加させることができた。電気教室の認知度が向上した。教育的な価値が高いことを強調することができた。
9	令和6年 8月9日	後援 (継続)	学校法人 SOLAM 学園 理事長 長尾 幸彦	瀬戸 SOLAM 小学校研究発表会「探求との出会いをどうデザインするか」	瀬戸 SOLAM 小学校 令和6年7月24日(火)	参加人数：136人 入場人数：48人	尾張東部の学校から多くの先生方にご参加いただきました。
10	令和6年 8月20日	後援 (継続)	尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム 山田 美和	瀬戸武田信玄公歴史探索ブライベント開催	物見山 令和6年8月7日(水)	参加人数：9人	新規参加者が0人であった。

※「参加人員」…主催者を除く事業への参加者数 ※「入場人員」…催物の一般入場（来場）者数

令和6年7月情報公開請求一覧(学校教育課分)

請求 年月日	請求区分	請求内容	決定通知 年月日	開示区分	開示文書名	担当部署	備考
1 令和4年11月8日	公文書開示 請求	2022年度4月校長会議要項の5 ページ及び資料14①	令和6年7月29日	一部開示	2022年度4月校長会議要項の5ページ及 び資料14①	学校教育課	本件は、一部開示とした原処分を取り消し、不開示部 分を一部変更して改めて一部開示決定を行ったもの。 令和6年4月17日付け公文書開示請求に対する公 文書一部開示決定(6瀬学教第151号)により、令和6 年度特別支援学級新増設・減廃級についての表を開 示している。 本件公文書一部開示決定においては、令和4年度特 別支援学級新増設・減廃級についての表を不開示とし ているが、開示することが適切であると認められること から、本件公文書一部開示決定を取り消し、当該部分 を開示することとして、改めて公文書一部開示決定とす るもの。
2 令和5年5月25日	公文書開示 請求	2023.4.1～4.30に開催された校 長会議に関するすべての文書。 会議録を含む。	令和6年7月29日	一部開示	・令和5年度 校長会議結果 ・令和5年度 校長会議要項	学校教育課	本件は、一部開示とした原処分を取り消し、不開示部 分を一部変更して改めて一部開示決定を行ったもの。 令和6年4月17日付け公文書開示請求に対する公 文書一部開示決定(6瀬学教第151号)により、令和6 年度特別支援学級新増設・減廃級についての表を開 示している。 本件公文書一部開示決定においては、令和5年度特 別支援学級新増設・減廃級についての表を不開示とし ているが、開示することが適切であると認められること から、本件公文書一部開示決定を取り消し、当該部分 を開示することとして、改めて公文書一部開示決定とす るもの。

6年第30号議案

代決処分の承認を求める件について（瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定議案に対する意見）

瀬戸市教育委員会決裁規程第9条第1項の規定により、次のとおり代決処分しましたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、その承認を求めるものとする。

令和6年9月12日提出

瀬戸市教育委員会
教育長 加藤 正彦

瀬戸市教育に関する事務の職務権限に関する条例制定議案に対する意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第2項の規定に基づき、瀬戸市議会から意見聴取のあった議案に係る意見聴取について、別紙のとおり回答する。

（理 由）

この案を提出するのは、瀬戸市議会から意見聴取のあった議案に対する回答は、瀬戸市教育委員会決裁規程第4条第1号に該当するため、教育委員会の議決を求める必要があるからである。

瀬戸市議会議長 小澤 勝 様

瀬戸市教育委員会

瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定議案に
対する意見について（回答）

令和 6 年 8 月 2 1 日付 6 瀬議第 2 0 5 号で依頼のありました意見につきましては、
下記のとおり回答します。

記

瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定議案に異議はありません。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定に基づき、瀬戸市長から本条例案について意見を求められたことについて、「条例の制定により市長が管理及び執行することとなる事務の実施にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、社会教育法及び国からの通知に基づき、今後も教育委員会や学校教育との連携に留意すること」を付言し、条例の制定について異議なしと回答しています。

6 瀬議第 2 0 5 号

令和 6 年 8 月 2 1 日

瀬戸市教育委員会 様

瀬戸市議会議長 小 澤



瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定議案に
関する意見聴取について

令和 6 年瀬戸市議会 9 月定例会に提出されます下記の議案について、地方教育行政
の組織及び運営に関する法律第 2 3 条第 2 項の規定により、貴委員会の意見を求めま
す。

記

- 1 議案名等 第 5 5 号議案 瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関す
る条例の制定について
- 2 提出期限 令和 6 年 8 月 2 9 日 (木)



令和 6 年 1 0 月 教育委員会日程表

日	曜日	件 名			
1	火	定例教育委員会事前打合せ 定例教育委員会	瀬戸市役所 3 階 瀬戸市役所 4 階	3 0 1 会議室 庁議室	午後 1 時 3 0 分～ 午後 2 時 0 0 分～ 全委員
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日				
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日				
14	月				
15	火	愛日地方教育事務協議会	豊明市ホール（本館 2 階）		午後 2 時 0 0 分～ 教育長 教育長職務 代理者
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				
24	木				
25	金				
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水				
31	木				

11月14日(木) 定例教育委員会事前打合せ 瀬戸市役所 3 階 3 0 1 会議室 午後 1 時 3 0 分～ 全委員
定例教育委員会 瀬戸市役所 4 階 庁議室 午後 2 時 0 0 分～

プロが教える
無料サッカーイベント

長久手市 × サッカー

講師紹介

オーストラリアでプロとして活躍

ビーチサッカー選手



カズコーチ



マサコーチ

日時：8/30(金)

1.2.3年生 (9:30~10:30)

4.5.6年生 (11:00~12:30)

場所・受付

★愛・地球博記念公園
フットサル場A
★各クラス開始の
10分前より受付

持ち物

- ☐ タオル
- ☐ 水筒
- ☐ シューズ
- ☐ 動きやすい服装



～お願い～

・申込先着順 (定員24名)

体調が優れないお子様はご遠慮下さい

見学・体験
大歓迎



申し込みは
コチラから



募集締切日 8月16日(金) 20時まで

瀬戸の歴史を知ろう 歴史探索プチイベント開催

～武田信玄と瀬戸との関わりについて学ぶ～



織田信長と決戦の前、武田信玄はこの世を去った。信玄の死を隠し、影武者を立て戦うことになった武田軍。終焉地を隠したため現在まで信玄の墓は不明である。

信玄の死から450年、信玄終焉地の謎に迫る。

イベント内容

日 時： 令和6年 9月 8日(日) 10:00～12:00

集合場所： 山口憩いの家

内 容： ①武田信玄プチ勉強会
②山口郷土資料館見学
③武田信玄史跡見学



@OWARISETOFURINKAZAN

参 加 費： 500円（会員の方は無料）

参加申込： 氏名、住所、電話番号、参加日、「歴史探索参加希望」と明記のうえ下記mailまで送信ください。

mailアドレス shingen1103.seto@gmail.com

又は070-9098-8353 山田迄

開催団体： 瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会会員
尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム

第93回せともの祭



染ぬる作る今が

宮前広場にあってまねー

9/14(土) 9/15(日)

10:00~16:30 (受付終了16:00)

10:00~16:00 (受付終了15:30)

会場 宮前広場

(尾張瀬戸駅より東へ徒歩10分)

宮前広場アクセスマップ(平時駐車場)▶



伝統技法を体験♪

茶碗・お皿染付け体験

呉須という絵具を使って、素焼き茶碗、お皿に絵や模様を描こう!大人も子供も楽しめるよ!
※絵具が上がり乾く必要は瀬戸市小田原町にて
10月19(土)、20(日)、新設の会場は着払いにて取り戻す。



茶碗・お皿 1回: 500円

オカリナ絵付け体験

お子様に大人気!オカリナに絵を付けてみませんか?
好きな色であなただけのオリジナルを作ってください!

1回: 大 400円 小 200円

スタンプリナー

スタンプを集めて、景品をもらおう!

景品はスタンプ対象ブース

スタンプ対象ブース

- オカリナ
- 染付け
- 缶バッジ
- ボディシール
- ミニボウリング
- お化け屋敷
- 木材工作



ミニボウリング

ミニボウリングを体験してみませんか?

軽いボールなのでお子様も安心!
1ゲーム2投、4歳から一人で参加可能。
倒れたピン数に応じてお菓子をゲット♪



ストライクで気分はプロボウラー♪



参加賞などの景品もあるよ!

1回 200円



主催 瀬戸商工会議所青年部 共催 瀬戸商工会議所 後援 瀬戸市教育委員会 瀬戸商工会議所青年部事務局 0561-82-3123
協力 株式会社尾張東部放送 金城学院大学 南山大学 名古屋大学 愛知宅地建物取引業協会東尾張支部 株式会社双野園

宮前広場ステージ

深川神社前宮前広場

9月14日(土曜日)

尾張瀬戸駅より東へ徒歩10分

10:00	オープニング
10:05~	子供太鼓こまいぬ座 (和太鼓演奏)
10:50~	水南マーチングバンド
11:40~	陶神オリバー (グリーティング)
12:30~	こまいぬバンド (ライブ)
13:20~	musicbase 瀬戸 (ライブ)
14:05~	Wiz & flow (ダンス)
15:05~	10ne wolf (ライブ)
15:45~	スギウラダーブ (ライブ)



子供太鼓こまいぬ座



9月15日(日曜日)

10:00	オープニング
10:05~	效範小学校バトン部 (バトン)
10:55~	西陵シニア (コーラス)
11:40~	ETOILE (バントワール)
12:25~	クウホアアロハ (フラダンス)
13:05~	朝日インテック名古屋ラブリッジ
13:45~	XX-JAPON (ライブ)
14:35~	奏手候 (ライブ)
15:20~	DANCE STUDIO SUNLIGHT (ダンス)



ETOILE



クウホアアロハ

ボディンゴールで

お祭り気分を
盛り上げよう!



日にち 9月14日(土)・15日(日)
1枚: 大 200円 小 100円

恐怖のお化け屋敷

瀬戸市の時代劇団 御慶一座 が贈る
移動お化け屋敷が好評につき今年も開催!
暗闇の恐怖をご家族揃ってご体験ください!



日にち 9月14日(土)・15日(日)
入場料 高校生以下: 300円 大人: 500円
(保護者の方とお子様と一緒の場合200円引き)

缶バッジを作ろう

日にち 9月14日(土)・15日(日)
デジタルカメラで撮影した
写真で缶バッジをつくろう!



1回 200円

本は工作体験

日にち 9月15日(日)

作るもの
ペン立て



5cm角ぐらいの大きさです。上部に丸い穴を開けて、
側面に焼き印、絵を描いたりして工作を楽しめます。

1回 200円

無料ピンポンダーツ

(公)愛知宅地建物取引業協会
東尾張支部
原品・文庫・駄菓子
日にち 9月14日(土)



瀬戸商工会議所青年部



商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う後継者を担う後継者の相互研鑽の場として、
また青年経済人として資質の向上と会員相互の交流を通じ、己の企業の
発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的とした組織です。

瀬戸商工会議所青年部では新規会員を募集しています! 詳しくはホームページをご覧ください

【活動内容】勉強会・ビジネス交流会の開催、せと陶相まつり・
せともの祭りのイベント開催。
【入会資格】年齢50未満で事業所の経営者、代表者、後継者の方。

瀬戸 YEG

瀬戸 YEG ホームページ <http://www.seto-yeg.jp/>



保護者様へ

ヒューマンアカデミーはプログラミング教育・STEAM教育の全国普及を目指しています。

ロボット製作やプログラミング・科学実験等を通じて、子どもが試行錯誤を繰り返し、主体的に課題解決に取り組む力を育むことを目指しています。新学習指導要領で重視される「プログラミング教育」や「理数教育」に楽しみながら触れていただくことができます。

※STEAM教育: Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) を総合的に学習する (STEM教育) に、Arts (芸術/創造性) を融合し、学びを社会での課題解決に生かしていくための横断的な教育手法。

★当日は保護者様へのご説明も行っておりますのでご同伴のうえお越しください。

★お席に限りがありますので、お早めにご予約ください。

瀬戸共栄通教室

10/5(木)
10:00~/13:00~

場所: 瀬戸市共栄通5-8
(マナビー内)



中水野教室

10/12(土)
10:00~/15:00~

場所: 瀬戸市はぎの台1-1
ふれあいかん
西陵地域交流センター



パルティセと教室

9/14(土) 9/28(土)
10/12(土) 10/26(土)

※各日10:30~/13:30~/15:15~

場所: 瀬戸市栄町45
パルティセと
市民交流センター



ロボット教室のホームページはこちら

ヒューマンアカデミー ロボット教室
<https://kids.athuman.com/robo/>

GO



きみのでゲームづくりにチャレンジ!

マイクラをつかったプログラミングも学べる!

ゲームをつくれた!

わくわく!! ドキドキ!!

キャラをうごかせた!

こんどはさすがにしてみよう!

プログラミング体験会

参加無料

保護者様へ

ヒューマンアカデミーはプログラミング教育・STEAM教育の全国普及を目指しています。

ロボット製作やプログラミング・科学実験等を通じて、子どもが試行錯誤を繰り返す、主体的に課題解決に取り組む力を育むことを目指しています。新学習指導要領で重視される「プログラミング教育」や「理数教育」に楽しみながら触れていただくことができます。

※STEAM教育: Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) を統合的に学習する「STEM教育」に、Arts (教養/創造性) を融合し、学びを実社会での課題解決に生かしていくための横断的な教育手法。

★当日は保護者様へのご説明も行っておりますのでご同伴のうえお越しください。

★お席に限りがありますので、お早めにご予約ください。

参加費: 無料
対象: 小学生
瀬戸共栄通教室
9/23(月・祝)

10:00~13:00~

10/14(月・祝)

15:00~

\ご予約はこちら/



場所: 瀬戸市共栄通5-8 (マナビー内)

中水野教室
10/12(土)

13:15~

\ご予約はこちら/


場所: 瀬戸市はぎの台1-1
ふれあいかん(西陵地域交流センター)

こどもプログラミング教室のホームページはこちら

こどもプログラミング教室

GO

<https://kids.athuman.com/programming/>



希望の未来へ 一歩を共に

未来のまちをみんなで作ろう！

これからの瀬戸のまちづくりのために、皆さんの声をお聞かせください。
アンケートに回答していただいた方の中から限定 100 組を、10 月 19 日
に開催されるランタンイベントに無料ご招待します。

回答
期間

2024年 9月6日^金 ▶ 10月6日^日



アンケートの回答は
こちらから

●主催 一般社団法人瀬戸青年会議所

●共催 Nanzan AID (南山大学所属企画系学生有志団体)

●後援 瀬戸市教育委員会

未来の瀬戸を一緒につくろう

アンケートご協力をお願い

一般社団法人瀬戸青年会議所の70周年記念事業として、これからの瀬戸のまちづくりのためのアンケートを実施いたします。ぜひみなさんの声をお聞かせください。

アンケートに回答していただいた方の中から限定100組を、10月19日に開催されるランタンイベントに無料ご招待します。

④ 回答方法 次のQRコードからアンケートページにアクセスしてください



回答期間

2024年9月6日(金)～10月6日(日)

ランタンイベント詳細

このイベントでは、瀬戸の歴史と文化を知り、瀬戸の新たな魅力を創り出すことを目的とし、参加者によるLEDランタンの打上げを行います。

【日時】2023年10月19日(土) 13:45 開会(受付開始 13:00～)

【本会場】旧深川小学校グラウンド跡地(〒489-0074 愛知県瀬戸市宮脇町5-2)

【受付会場】青の広場(〒489-0044 愛知県瀬戸市栄町10)

※名鉄瀬戸線「尾張瀬戸駅」から受付会場は徒歩5分程度、本会場は徒歩10分程度

※駐車場は近隣の有料駐車場をお使いください。(無断駐車や路上駐車は近隣への迷惑となるため絶対にしないようにしてください。)

石川ゼミプロジェクト紹介

南山大学の学生が企画するプロジェクト「レトロさんぽ in 瀬戸」。瀬戸市の昔ながらのお店の魅力を発信するため、瀬戸市の商店街を舞台に「レトロ」をテーマにしたデジタルスタンプラリーを実施します。

「レトロさんぽ in 瀬戸」
の詳細はこちらから！



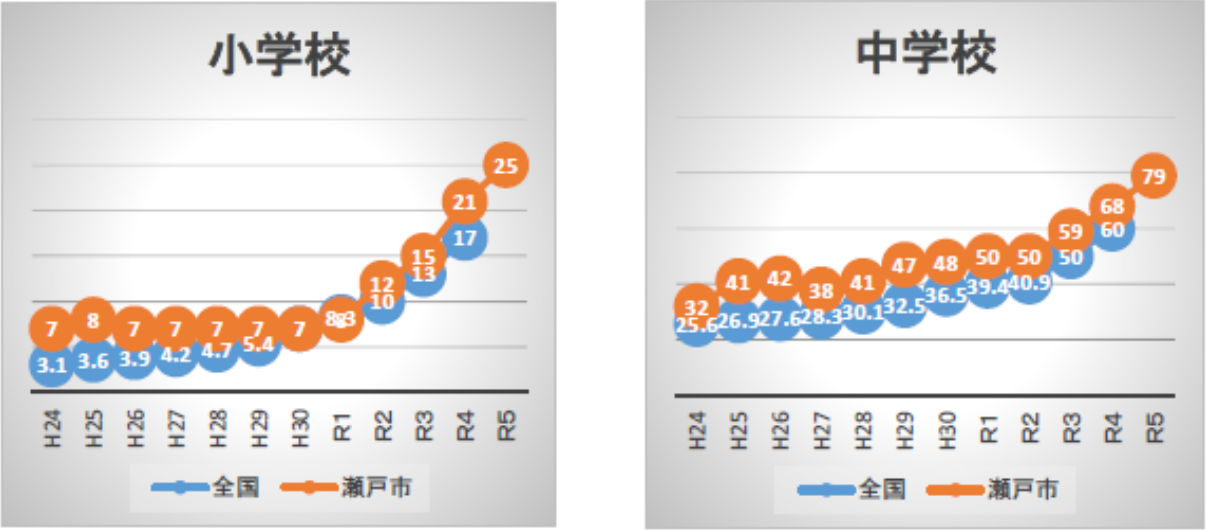
◆子どもの居場所づくり推進事業（せと“ここ”ほっとルーム）について

1 経緯

子ども・子育て関連支援施策が急速に拡充される中、教育現場も「誰一人取り残されない学びの保障」を掲げ、大きな変化を求められています。

不登校については、コロナ禍による閉塞感の影響も大きく、令和2年度以降、全国的に急増しており、瀬戸市においても同じ傾向が続いています。不登校となる要因は、学校、家庭等様々ですが、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得るものとしてとらえていくことが重要です。

① 全国的な不登校者数の推移1000人当たり



② 瀬戸市における不登校者数（令和5年度）

小学校162人（割合 2.5%）
中学校256人（割合 7.9%）
小中合計418人（割合 4.3%）

●不登校とは
「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席したものの内、病気や経済的な理由によるものを除いたもの」

2 不登校児童・生徒の学びの場について

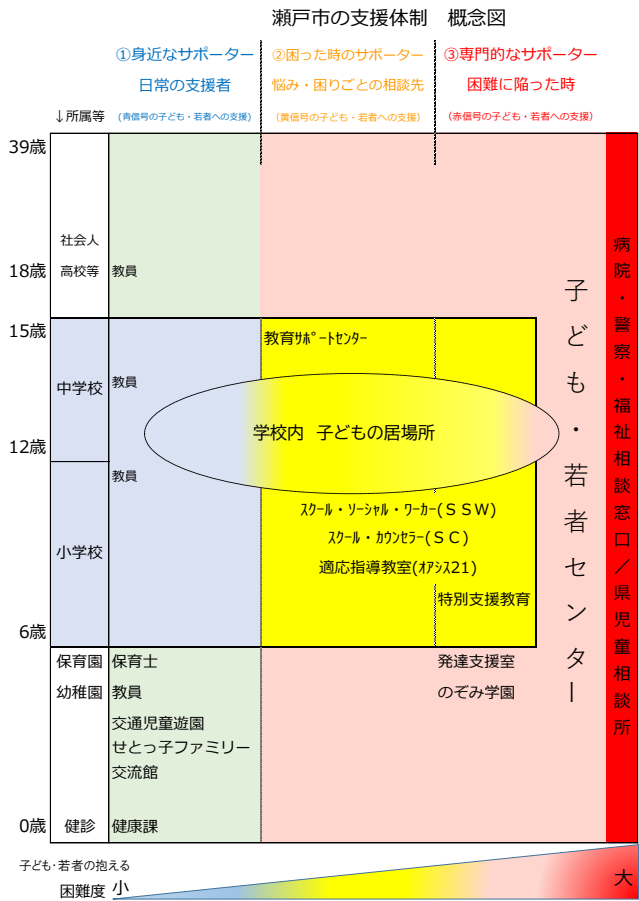
令和4年度における本市の不登校児童・生徒数は363人で、その「学習の場」となっているのが、校内54%、オアシス21 8.5%、フリースクール3.6%である一方、「学習の場なし」は35%となっています。学校は行きなれた場所であり、また自分の力で登下校できる場所であるため、多くの児童生徒の学びの場となっていますが、場所や指導する人が不十分な状態であるため、利用時間や利用回数は限定的なものとなっています。

3 総合的な対策について

- ① 土台となる学校の努力（「魅力ある学校づくり」と「わかりやすい授業」の工夫）
- ② 未然防止のための取り組み（児童生徒がSOSを発することができるような環境整備）
教育相談、Q U（学級集団アセスメント）、タブレット（ライフノート）の活用
- ③ 早期発見と対応（教職員、SC、SSWer、保護者が連携・協働して課題に対応する。）
- ④ なかなか学校に来られない場合
ケース会議で支援方法を協議し、家庭訪問やSC、SSWer 等によるカウンセリングを行い本人や保護者の考えを把握したうえで、学びの場を保障する。

校内の居場所（教室以外の別室）の設置が、本市の不登校対策を組織的・継続的に進める上で重要であり、居場所職員をはじめ、学校教職員、SC、SSWer、関係機関等それぞれが役割を確認しながらチームとして動くことで、重層的支援構造による支援が可能となります。

4 子どもの年齢と支援体制



・子ども・若者の年齢、発達段階と困難度に応じた支援体制は、分野やセクションを越えて関わっています。

・「教育」は、学校だけで完結できるものではなく、「福祉」や「医療」など他方面からのアプローチや支援なしには、子どもや家庭の多様なニーズに対応できない状況にあります。

・学校は、子どもたちが一日の中で多くの時間を過ごす場所であることから、ここ「学校」を核として様々な分野が連携・協力して支援することが、子どもを取り巻く環境へアプローチしやすいものと考えます。

・教育委員会では、子どもや家庭の困難に対応する手段として、「教育」と「福祉」を融合したアプローチができる仕組みとして、子どもの居場所づくり推進事業「せと“ここ”ほっとルーム」に取り組んでいます。

◆子どもの居場所づくり推進事業（せと“ここ”ほっとルーム）について

5 “ここ”ほっとルーム（市内全中学校内7校+オアシス21）

① 設置目的

子どもが安心して、居心地よく過ごす居場所として、学校とは異なる生活や学習等の環境を整え、子どもが安心して主体的に過ごし、将来の自立につながる力を身に付けるための場とする。

② 設置場所（開所年月）・開所時間

市内全中学校内+オアシス21内

光陵（R5.7～）、水無瀬・南山・にじの丘（R5.9～）

品野・水野・幡山、オアシス21（R6.4～）

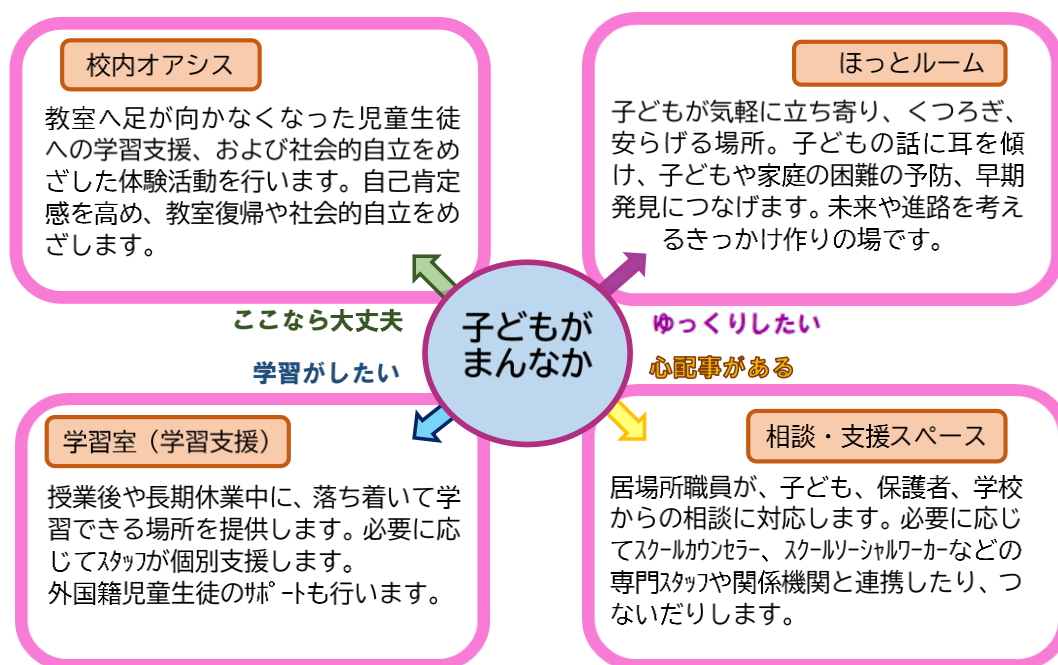
③ 人員体制（R6 配置イメージ）

所長・副所長 計4人（7か所を兼務）

生活・学習支援員（1か所につき）

7.5H×5日/週 1人、4.5H×5日/週 1人 4H×2日/週 1人

目的に合わせた4つの機能



6 “ここ”ほっとルームの実績

① 登録者数（7中学校内ほっとルーム）

R5 年度末：66名（中学生55名、小学生11名）

R6.7 現在：110名（中学生89名、小学生21名）

② 利用者数（7中学校内ほっとルーム）

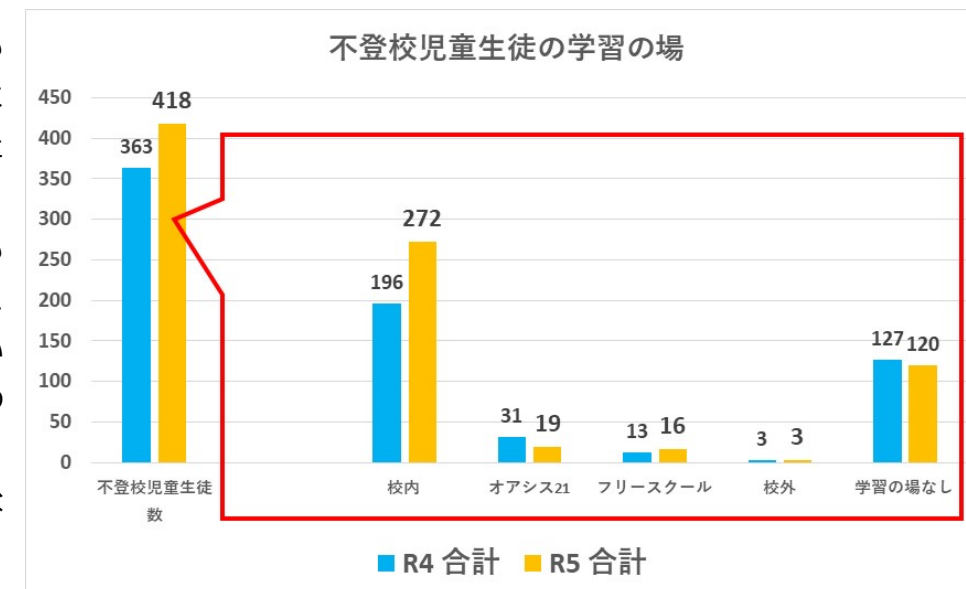
R5 年度末：3,301名（9月～3月 ※光陵は7月～）

R6.7 現在：3,234名（4月～7月）

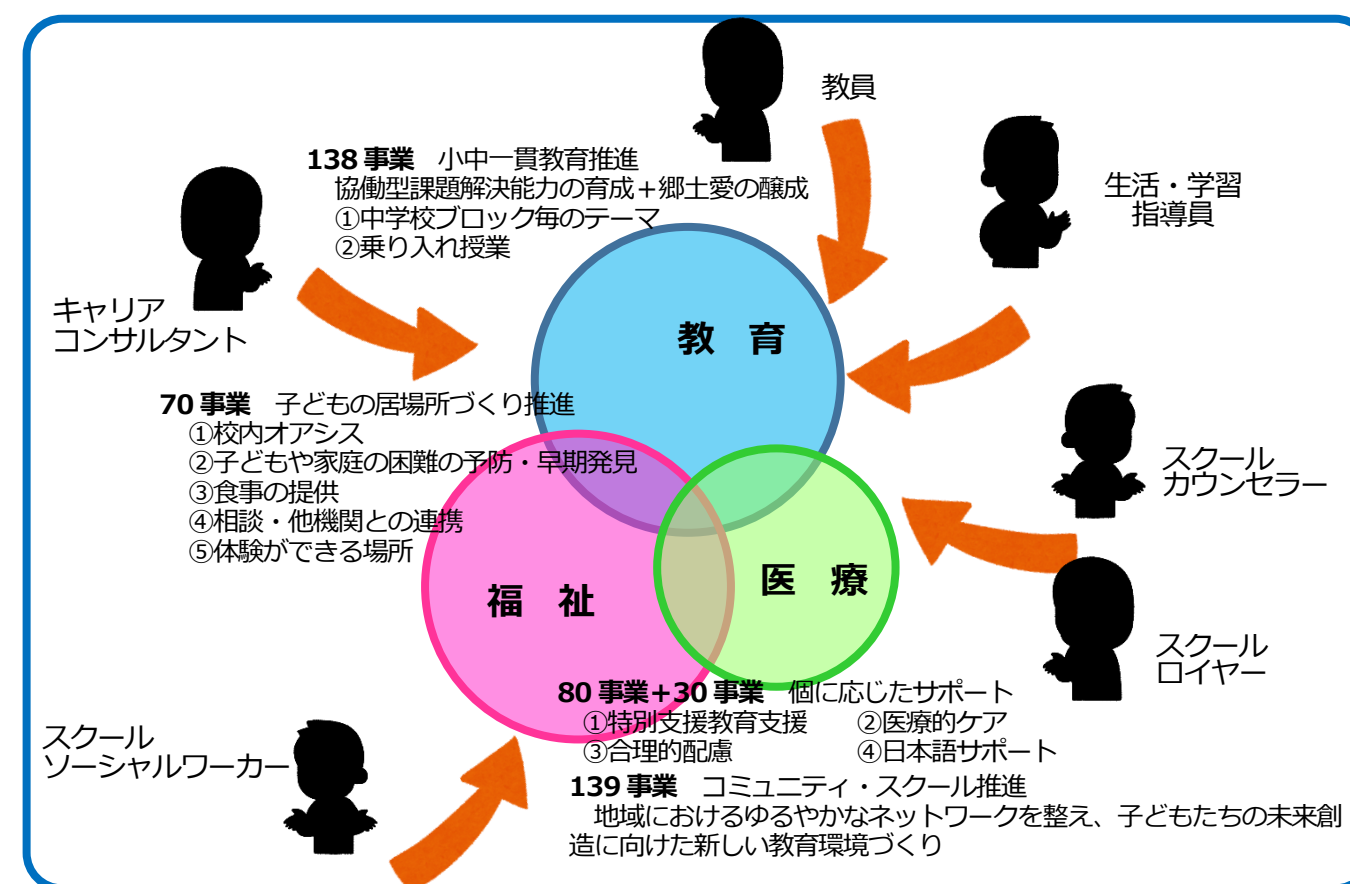
7 成果

不登校児童生徒数は増加しているものの、“ここ”ほっとルームの開設により、これまで「学習の場なし」であった児童生徒数に減少がみられます。

また、「今まで家の中にいてどこにも通えなかったのに、“ここ”には通うことができているので驚いている」といった声や学校内にあることで学校とのつながりを感じられ喜ぶ姿等みられ、子どもの将来に向けた大きな一歩となっています。



8 学校を核とした支援（多様な人材・地域による支援）



令和5年度 せと“ここ”ほっとルーム活動報告

1 事業の概要

(1) 事業方針

近年、社会のグローバル化や人口減少等、子どもや学校を取り巻く環境は多様化・複雑化しており、大きく変化している。併せて、個に応じた支援を必要とする子どもも増加傾向にあり、その対応が課題となっている。

そうした課題を踏まえて、「瀬戸市子どもの権利条例（令和4年9月公布）」の理念に基づき、子どもが安心して居心地よく過ごせ、学びや自立に向けて生き抜く力をはぐくむための学校でも家庭でもない第3の居場所として、「せと“ここ”ほっとルーム」が開設された。

“ここ”ほっとルームは、一人一人の子どもの個性やペースが尊重され、誰一人取り残されることなく、すべての子どもが安心して居心地よく過ごせる場所を目指す。

※ 以下、文章中では「せと“ここ”ほっとルーム」を省略して「“ここ”」と記載する。

(2) 事業の目的

“ここ”では、子ども一人一人の個性を大切にし、子どもが安心して、居心地よく過ごす「こどもまんなか」の居場所を目指す。学校とは異なる生活や学習等の環境を整え、子どもが安心して主体的に過ごし、将来の自立につながる力を身に付けるための場所とすることを目的とする。

(3) 目的に合わせた機能をもつ場所

①校内オアシス

長期欠席している子どもへの学習支援、および社会的自立に向けた支援・指導を行う。

②子どもが安心して過ごせる居場所

子どもが気軽に立ち寄り、くつろぎ、安らげる場所。子どもの話に耳を傾け、子どもや家庭の困難の予防、早期発見につなげる。未来や進路を考えるきっかけ作りの場とする。

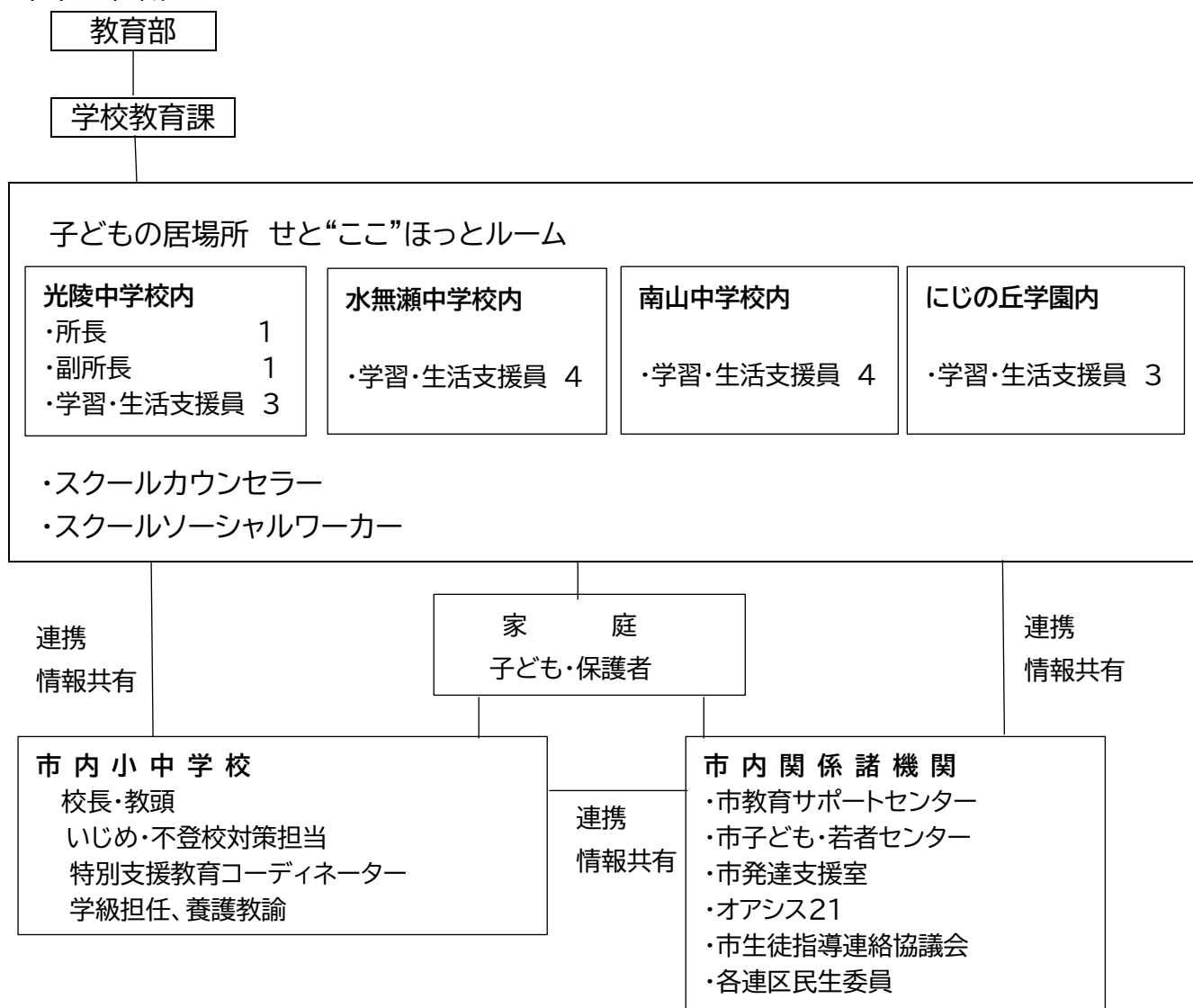
③学習室

授業後や長期休業中に、落ち着いて学習できる場所を提供する。必要に応じて支援員が個別に支援を行う。

④相談・支援スペース

職員が、子ども、保護者、学校からの相談に対応する。必要に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフや関係機関へつなぐ。

(4) 組織



2 セと“ここ”ほっとルームの経営

(1) 経営方針

瀬戸子どもの居場所「せと“ここ”ほっとルーム」は、メイン拠点である光陵中学校は令和5年7月10日、水無瀬中学校・南山中学校・にじの丘学園では令和5年9月1日に開所した。

ここ数年、不登校をはじめとしてヤングケアラーや経済的困窮家庭、外国籍児童生徒の言葉の問題等、子ども達を取り巻く状況は厳しいものがある。様々な課題を抱えた子どもや家庭のよりどころとなる場所を目指して運営している。経営方針として下記の4つが大きな柱となる。

- ① 支援員が子どもに寄り添い、子どもにとって安全安心な場所とする。
- ② 子どものやりたいことが主体的にできるように環境整備をする。
- ③ 子どもの話に耳を傾け、子どもや家庭の困難の早期発見、予防につなげる。
- ④ 他機関と連携し、支援が必要な子どもや家庭を関係機関につなぐ。

(2) 「せと“ここ”ほっとルーム」の概要

ア 「“ここ”ほっとルーム」利用対象者

- ・ 市内在住の小中学生であって本人及び保護者が希望するもの。
- ・ その他瀬戸市教育委員会が認めるもの。

「校内オアシス」利用対象者

- ・ 市内小中学校の児童生徒で、学校や教室に行くことが難しい者。

イ 「校内オアシス」入級、通室方法

- ・ 本人・保護者が見学し、本人・保護者が入級を希望し、学校長が承認すれば正式入級とする。
- ・ 通室時間、通室日時等、具体的な方法は本人の意思を確認しながら決める。

ウ 開所日時

- ・ 開所日

「瀬戸市子どもの居場所設置及び運営要綱」に従い開所する。

休所日は、日曜日および土曜日、国民の祝日に関する法律で規定された休日、1月1日から同日4日まで及び12月28日から同日31日までの日、その他教育委員会必要と認める日を休日とする。

- ・ 開所時間

午前8時30分から午後5時30分まで（光陵中学校）

午前8時30分から午後4時30分まで（水無瀬中学校、南山中学校、にじの丘学園）

エ その他

- ・ 当該児童生徒の担任、学校担当者と適宜連絡をとり、情報共有し、指導の連携をとる。
- ・ 通室の状況（部屋での様子、利用日数、給食の状況、今後の対処や連絡等）について、電話やC4thで連絡をとり、情報共有する。
- ・ 月末には、学校長へ通室児童生徒の状況報告をする。
- ・ 月末には、部屋で食べた給食の食数を担当者に報告する。

3 「せと“ここ”ほっとルーム」の活動

(1) 毎日の活動状況

「“ここ”」では、「こどもまんなか」を活動の柱と考えている。したがって、子どもがやりたいことを主体的に考えて行い、生活・学習支援員がそれを見守り支援する形をとっている。具体的には、来室時に学校の日課を基に、自分で1日のスケジュールを立てるように促す。子どもの状況により、積極的に計画をたてる子どももいれば、見通しが立たない、計画を立てたくないという子どももいる。それらも受け止め、子どもがやる気を出すまで「待つ」姿勢を大切にしている。

(2) 学校との連携

学級と“ここ”を併用している子どもが多くいる。朝“ここ”へ来室し、授業の内容により1日の途中から学級へ行く子どももいれば、朝普通に登校したが、1日学級で過ごすことができず、給食や長い放課から“ここ”へやってくる子どももいる。今までなら1日の途中で「体

調不良」として早退していた子どもが、“ここ”を利用することで1日過ごせるようになったという事例も多い。

光陵中学校では、“ここ”の職員が学校の「生徒指導部会」、「サポートセンター会議」、「ケース会議」のメンバーとして会議に参加している。参加することにより、子ども達の家庭環境や友人関係等の情報を得ることができ、“ここ”での対応に生かすことができている。反対に、“ここ”の利用状況や部屋での様子を学校に伝えることができている。

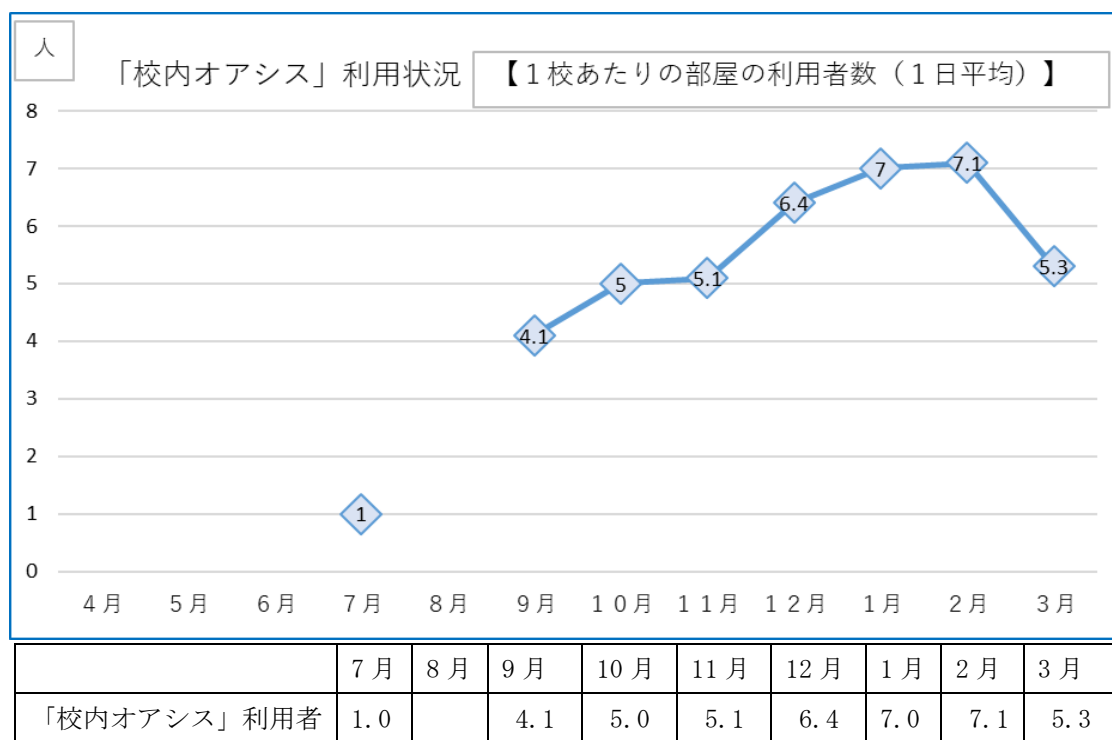
(3) 各“ここ”ほっとルームの登録者数

市内4か所の“ここ”ほっとルーム「校内オアシス」では開所以来、月を追うごとに登録者数が増えた。登録者は、その中学校の生徒だけでなく校区の小学生、他校の中学生も増えてきている。

「校内オアシス」登録者数

	総登録者数	内 訳 等
市内4か所の登録者数合計	66名	中学生 55名(内:他校生徒4名) 小学生 11名

(4) 月別利用状況



上のグラフは、市内4か所のせと“ここ”ほっとルーム「校内オアシス」の利用状況を表している。「校内オアシス」とは、不登校傾向の子どもが授業時間帯に利用する場合をさす。1日あたりの平均を見ると、1校あたり1日5人から7人が利用していた状況がわかる。

学校にて7月の個人懇談中に「個別相談会・懇談会」を開いたり、「“ここ” ほっと通信」で広報したりして、開設校の生徒や保護者に“ここ”の存在や目的を知ってもらうことに努めた。秋になると、保護者同士のネットワークで“ここ”の情報が広まり、他校の保護者からも連絡が入ることが増えてきた。また、生徒同士のネットワークでも、“ここ”の存在が知られ、次第に利用者が増えた。また、教員の案内により、見学や体験を行う生徒も多くいた。そのような情報の広がりにより、不登校傾向で教室に入れない生徒が、短期間のうちに校内オアシスに登録した。

令和5年度の「校内オアシス」登録者うち約3分の1が中学3年生だったため、3月の卒業式後は利用者数が下がった。しかし、現在でも新たな見学者や体験者がおり、令和6年度も多くの利用者が見込まれる。

(5) “ここ”ほっとルームでの活動状況

<校内オアシスでの活動>

校内オアシスとして部屋を利用する子どもの利用方法は大きく2つに分かれる。一番多いのは、家から直接“ここ”に来室し、“ここ”で過ごした後、そのまま帰宅するパターンである。出席を意識してのことか、開所時間8時30分ごろから自分の学年の下校時間15時30分ごろまで過ごす児童生徒が多い。また、朝早く起きることが苦手なためか、10時以降に来室する場合や給食時間後から利用する場合もある。開所時間が長いことで、様々な状況の子どもに対応できていると感じている。

一方、学級には登校できているものの、一日数時間のみ“ここ”を利用するという子どももいる。話を聞いてみると、「教室の雑音が耐えられない」「自分の居場所がない」「学習内容についていけない」などの背景を感じる場合が多い。部屋を利用する子どもの多くが、学習以外のことで心のエネルギーを奪われており、なかなか学習に向かう気力がわかないようである。部屋では「こどもまんなか」の理念に基づき、まずは自分でやりたいことを考えて計画する「私のスケジュール1週間」を支援員と共に作成するように勧めている。「計画をたてたくない」という通室生も多く、自主性に任せている。自分がやりたいと思うことから取り組む、同じ部屋の通室生や支援員とのコミュニケーションを大切にすることで、自己肯定感を高め、様々なことに興味がいくようなエネルギーを蓄えていくことを目指して支援している。これからも子どもの気持ちが前向きになるのを「待つ」姿勢を大切にしていきたい。

○ 個別のペース／個別のスペース

子どもたちは、それぞれが好きな場所でやりたい課題に取り組んでいる。同学年同士一緒に学習したり、支援員と一緒に考えたりしている。時には上級生が助言してくれることもある。

一人で集中して取り組みたいという生徒もいる。そうした希望にも対応できるように衝立などで個別のスペースを準備している。個別のスペースは、学習だけでなく、一人で休憩したいときや他の通室者と顔を合わせたくないとき、気持ちをクールダウンするときなどに使用されている。

“ここ”にとって大事なスペースである。

○ コミュニケーションの機会

“ここ”を開所した当初は、学習に気持ちが向かない通室生は、一人で絵を描いたり、読書をしたりすることが多かった。しかし、仲間と毎日のように顔を合わせて会話をしているうちに、コミュニケーションをとるようになり、いつしか皆でトランプやUNO、人生ゲームなどの集団でのゲームをする機会が多くなってきた。そんな時は、部屋の中に笑い声があふれる。はたから見ると遊んでいるだけのようにも見えるが、ゲームを仕切る子がいたり、負けそうになって悔しさが抑えられない子がいたり、後片付けにこだわりがある子がいたり、様々な様相を見せてくれる。そうしたやり取りの中から、これから先の社会に必要なスキルを学ぶ時間となっている。

○ 給食の提供

“ここ”の特徴の一つに給食提供があげられる。長期にわたって不登校であった通室生は、給食をずっと食べていなかったという子が多い。“ここ”では給食センターや学校職員の方々の協力により、給食提供が実施できている。献立表でメニューを確認して来室する子も多く、通室生も給食の時間を楽しみにしている。昼食時に保護者が不在な家庭も多く、今まで一人で簡単な昼ご飯を食べていたと話す子もあり、大勢で栄養価の高い給食を食べることはとても意義のあることだと感じている。皆で協力して配膳し、同じテーブルを囲んで楽しい時間を過ごしている。

○ 企画・イベント

広い室内とミニキッチンを備えている“ここ”もある。恵まれた施設を生かして、季節ごとにお楽しみ企画を行っている。お楽しみ企画には、設置校の生徒全員に呼び掛けて行うものもあれば、校内オアシスに登録している通室生だけで行うイベントもある。校内オアシスの通室生だけで行ったイベントとしては、「おやつ作り」、「昼食づくり」、「季節のジャムづくり」などがある（写真④）。通室生は、このような企画・イベントをととても楽しみにしている。「おやつ作り」の時は、通室生の考えたメニューを取り上げるようにし、主体的に関わることができるようにしている。「スポーツをしたい」、「野菜を栽培したい」という声も多く、次年度は学校施設を借りてスポーツに関するイベントが開催できるように計画していきたい。

○ 他機関と連携した活動

市内で勤務するスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの担当者が“ここ”の活動を支えてくれている。時々部屋を訪問してくれて、通室生と会話をしたり、ゲームをしたりして親しくなるとともに、本人や家庭の状況を確認してくれている。支援員も部屋の近況を伝えたり、困っていることを相談したりして、チームで子どもや家庭を支えるという形ができつつある。

キャリアコンサルタントが月1回来室し、教員や子ども達の相談にのったり、ワークショップを開いたりしているところもある。3月には、「夢はなくても、これさえ知っていれば大丈夫！ー秘密の呪文を教えますー」と題したワークショップを開いた。将来のことに不安を感じている生徒は多く、皆で自分自身のことや進路のことを考える良い機会となった。

4 「せと“ここ”ほっとルーム」の成果と今後

- ・ 市内4か所の“ここ”に小中学生66名（中学生55名、小学生11名）が登録し、通室することができた。全員が毎日通うことができているわけではないが、“ここ”が設置されている4校の不登校児童生徒の割合は昨年度より減少に転じている。また、保護者懇談の際には、「今まで家の中にいてどこにも通えなかったのに、“ここ”には通うことができているので驚いている」という声を数件いただいた。
- ・ 教育委員会直轄の組織であるため、学校教育課と情報を共有し、問題が起こった時には解決に向けて、学校、市教委、関係機関とすぐに連携して対応することができた。
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しているため、子どもの話から家庭の状況が心配な時や本人の精神状態が心配な時には連絡をとり、専門知識をもとに動くことができた。
- ・ 長期間休んでいて、急に来室した場合にも給食を提供することができた。登録者には状況が心配な家庭の児童生徒が多く、成長期に栄養の整った給食を提供できることは大きなメリットである。給食の提供については、保護者や児童生徒から感謝の声も聞かれる。
- ・ 学校の校舎内に部屋があるため、生徒本人が学校とのつながりを感じることができている。「担任の先生が会いに来てくれた」「プリントや配布物を届けてくれた」「行事に参加しないか誘いの声がかかった」など、生徒の状況にもよるかもしれないが、学校とのかかわりが途切れないことを喜んでいるように感じることが多い。また、興味のある授業や行事にすぐに参加できるのも学校の中に部屋があるというメリットである。その反面、教室に行くことや先生方と関わることを拒否する気持ちが強い児童生徒に、行事や授業の誘いがあると、本人は大きなストレスを抱えるようである。せつかくの声掛けが逆の効果を生んでしまうこともある。そうしたことを防ぐためにも、学校との連携が大きな鍵となる。多くの課題を抱えて多忙な学校現場だが、サポートに関する会議に支援員が参加させてもらう、生徒の情報が載った印刷物を回覧してもらうなど、工夫して連携を進めていきたい。

取扱注意

◆学校給食費の改定について

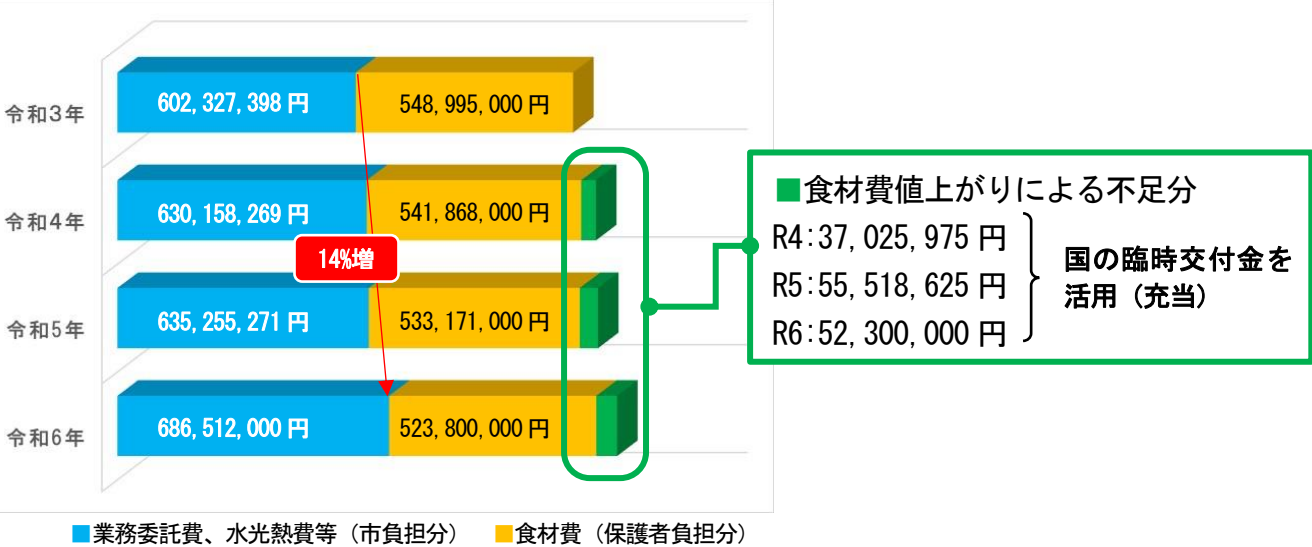
1 物価高騰等による食材費の上昇

給食費については、平成 28 年 4 月に現行の金額に改定し、現在までその金額を据え置いています。物価高騰が続く中、食材費は平成 28 年と令和 6 年を比較すると主食であるパンが 19%、米飯が 14%上昇し、さらに牛乳は 30%上昇しています。今後も物価高騰の終息を見込むことができない中、現行の給食費では学校給食摂取基準を満たし、質や量を維持することが困難な状況です。

学校別	給食の形態	R6	H28	上昇率	
小学校	パン	62.76	52.87	19%	↗
	米飯	62.87	54.51	15%	↗
	めん	66.83	49.52	35%	↗
	牛乳	66.63	51.21	30%	↗
中学校	パン	69.10	58.07	19%	↗
	米飯	70.37	62.15	13%	↗
	めん	72.52	57.16	27%	↗
	牛乳	66.63	51.21	30%	↗

2 物価高騰等に対するこれまでの取り組み

給食を提供するための業務委託費や光熱水費の上昇に対しては、予算を増額して対応しているところですが、食材費の上昇にはこれまでも食材や献立を工夫するとともに、国からの臨時交付金を活用するなどの対応により給食費を据え置いてきました。



3 今後の対応

次年度以降も物価高騰の終息は見込むことができず、国の臨時交付金も恒久的な制度ではないことから、食材費の上昇に合わせた給食費の改定が必要となります。

区分	現行	改定額（案）	増加額（率）	改定時期
小学生	260 円／食	300 円／食	40 円／食（15.4%）	令和 7 年 4 月 1 日
中学生	300 円／食	340 円／食	40 円／食（13.3%）	

（参考） 現行の軽減措置（R6.6.1 現在数値）

就学援助受給者（実質的に給食費の負担はない） 899 人／9,537 人（9.42%）
特別支援学校・特別支援学級児童生徒（給食費の半額を補助） 136 人／9,537 人（1.4%）

4 給食費改定による効果

給食費の改定により、物価高騰等による食材費の不足を補い、子どもたちに栄養バランスや量を確保した美味しい給食を持続的に提供することが可能になります。

逆に給食費を改定しなければ、今までのような献立が立てられず、子どもたちに栄養が不足した寂しい給食しか提供できない状況となる。

5 経過措置

各家庭の急激な家計負担の緩和、周知期間として保護者負担を一定期間据え置く経過措置について検討してまいります。

6 給食費改定に向けたスケジュール（予定）

年 月	内 容	年 月	内 容
令和 6 年 7 月	給食センター運営委員会（済）	令和 6 年 10 月	瀬 P 連役員会・理事会
令和 6 年 8 月	給食センター運営委員会意見集約（済）	令和 6 年 10 月	保護者・市民への周知①（通知文・HP）
令和 6 年 9 月	定例教育委員会	令和 6 年 11 月	保護者・市民への周知②（広報せと）
令和 6 年 9 月	市議会全員協議会	令和 7 年 3 月	3 月議会定例会（令和 7 年度予算議決）
令和 6 年 10 月	校長会議	令和 7 年 4 月	給食費改定

7 定期的な給食費の見直し

物価の上下動に対応するため、今後は定期的（3 年ごと）に給食費の見直しを検討することとします。

（参考） 尾東地区 学校給食費改定状況

市町村名	新給食費		改定時期 （R4 以降）	改定額（増額分）	
	小学生	中学生		小学生	中学生
東郷町	4,200／月	4,500／月	R2.4	---	---
北名古屋市	270	310	R5.4	30	25
小牧市	290	330	R4.9 R5.9	55	60
春日井市	295	340	R6.4	50	55
豊明市	310	350	R6.4	60	70
清須市	4,500／月	5,200／月	R6.4	400／月	400／月
豊山町	286	328	R6.4	46	53
日進市	300 で検討	340 で検討	R7.4 予定	60	70
尾張旭市	現行 250	現行 280	R7.4 の改定検討中		
長久手市	現行 220	現行 260	R7.4 の改定検討中		
瀬戸市	300	340	R7.4 予定	40	40

○瀬戸市学校給食センター運営委員会委員の意見

学校給食費改定 に対する意見	・ 給食は、家庭の食費と考えますので、値上げは仕方が無いと思います。ただし、今回は上がり幅が大きい分、様々な意見が出るのではと思いました。 ・ これまでの世の中の情勢を考えれば、現在の物価の高騰は予測ができたのではと思います。数年前から少しずつ値上をした方が良かったのではないかと思います。
	・ 給食は、子どもたちの楽しみなのだが、最近は少し寂しくなっている。給食費が上がっても育ちざかりの子どもたちが満足できるものを提供してほしい。 ・ 学校給食に栄養面で頼っていたが今のままだと家庭でも頑張らないといけない。350円（小学生）までの値上げはOK。 ・ 値上げはやむを得ないし、給食がある事で助かっている。 ・ 500円でもよいから、デザートを付けて欲しい。（小学生母）
	・ 給食費改定は、やむを得ないと思います。委員会でも話題になったとおり、保護者（市民）にどう伝えていくかだと思います。現在の世論だと承認してもらえんと思います。 ・ 可能性は低いと思いますが、給食費無償化がいろいろな市町で広がり、風向きが変わると難しくなると思います。その点の風向きにも気を付ける必要があります。
	・ 社会で給食の無償化などが話題となっている中ではあるが、この物価高騰の現実には十分に認識されているはずなので、給食費改定に関しては「やむを得ない」と大方の市民（保護者）には理解いただけると思う。ただし、周知の仕方を工夫することで、よりスムーズに進められることが期待できる。 ・ 改定と併せての周知は難しいかもしれないが、「原材料費以外は公費で賄っている」ことや「アレルギー対応を先進的に行っている」ことなども伝えられる機会が作れるとよい。
	・ 値上すれば良いと思う。物価高で致し方なし。運搬費も嵩んでいる。告知の仕方によるが、子どもたちの成長に大事な栄養を提供するためだし「支出として食材費だけのみ請求している」という旨が理解してもらえれば、保護者からの反対は少々あっても実行して良い。
	・ 保護者の理解を得て、値上げはやむを得ないと考えます。
その他学校給食 について	・ 食物アレルギー対応は、とても高い次元で行っていることを保護者に知ってもらいたい。他市もアレルギー対応をしているというけれど、多くの市は、無配膳という対応だけである。瀬戸市は、代替食対応や除去食対応も行っている。その分学校現場も大変だが、一人ひとりに寄りそう姿勢を知ってもらいたいと思う。 ・ 瀬戸の給食で使われている食器が各市町でも導入してもらえるとよいと思います。以前関東地方の市が本市の中学校に来校された時に食器を見て驚いていたのが忘れられない。
	・ 価格よりも栄養を考えたメニューはとても有難く、感謝いたします。これからもどうぞよろしく願いいたします。
	・ 自宅では野菜が食べられなくても学校では食べれる子がいます。
	・ 牛乳は止められないのでしょうか。酪農家の仕事が奪われるのは危険だけど、お茶や豆乳、水や紅茶など、様々なドリンクをサーブすれば費用も抑えられるのでは。カルシウム不足が気になるようですが、和食の素材で摂取できれば理想的かと思います。
	・ 定額制を導入することになると、学級閉鎖や定期テスト日の給食の扱い、ラーションの日の欠食の問題、不登校生徒やここほっとルームでの給食提供の問題、長期休暇にかかる月の給食費（7・12・1・3月）など、問題は山積みであることが予想される。（他市町の成功例があるならば考える余地はあるかもしれない）